

令和3年度 大阪府大阪市精神医療懇話会 議事録

日時： 令和3年12月13日（月）午後2時～3時30分

場所： Microsoft Teams によるオンライン開催

【事務局（傍聴等）開催場所：大阪府役所 地下1階 第10会議室】

出席委員：11名（委員総数12名）

（澤委員、鍵本委員、井上委員、甲斐利弘様（古塚委員の代理）、松永委員、阪本委員、西浦委員、谷澤委員、中西委員、喜多村委員、片桐委員）

■議題1 都道府県・地域連携拠点医療機関について

資料に基づき、大阪府保健医療室地域保健課精神保健グループから説明

【資料1-1】（大阪市二次医療圏）都道府県連携拠点医療機関・地域連携拠点医療機関

【資料1-2】 令和2年度 都道府県連携拠点実績報告・地域連携拠点実績報告

（質問）

- ・都道府県連携拠点医療機関の指定要件において、人材育成が含まれるが、定義や基準はあるのか。

（大阪府の回答）

- ・基準等は定めていない。医療機関で行っている既存の研修等を活用していただいている。
- ・ただし、院内向け研修を医師等多職種や府域全域を対象を広げていただくようお願いしている。

■議題2 夜間及び休日における精神科救急医療の状況について

資料に基づき、大阪市健康局から説明

【資料2】夜間及び休日における精神科救急医療の状況について

（質問）

- ・「おおさか精神科救急医療情報センター利用実績」の（2）相談経路にある「警察」には、緊急措置診察受付窓口で非該当となったものも含まれているのか。

（大阪府の回答）

- ・措置非該当となったものは、おおさか精神科救急医療情報センターは使用しないため、実績には含まれない。

（質問）

- ・「合併症協力病院受入実績」が経年的にみると徐々に増加しているが、令和2年度が減少しているのは、新型コロナウイルス感染症の影響で、一般救急が逼迫し、合併症患者の受入ができなかったということか。

（大阪府の回答）

- ・6頁に記載している合併症協力病院の実績については、病病連携でご協力頂いているものを、参考として提示しているため、内容等については行政では把握・関与していない。

（質問）

- ・11病院が合併症協力病院として記載されているが、実際に病床の運用がない病院もあるなか、新たに病院を増やすなど再編は考えているのか。

(大阪府の回答)

- ・平成 26 年以降の実績での一覧表としているため、次年度からは、病床の運用のない病院については、削除する。
- ・合併症協力病院の受け入れに関して、以前は行政から補助金を出して協力していただいていたが、システムとしては存置するものの、財源的な措置は廃止しているため、現段階で新たに増やすという事は難しいと思う。

(質問)

- ・緊急措置診察実施件数が、平成 30 年度から令和 2 年度にかけて増加しているが、その要因は判っているのか。

(大阪府の回答)

- ・増加の要因としては、国のガイドラインが厳しくなり、該当あるものは件数としてカウントする方向性になったことも一因と考える。

(質問)

- ・緊急措置診察において、非該当や鑑別不能とはどのような状況であるのか、また、現場へのフィードバックについて教えていただきたい。

(大阪府の回答)

- ・泥酔等、普通の状態では診察ができない場合、鑑別不能となる。
- ・フィードバックについては、医療機関や警察から問合せがあった場合、窓口を設置している大阪府こころの健康相談センターの担当者から、当日対応した職員に、どのように判断したのか確認している。また、その判断内容が不十分であった場合は、注意喚起を行っている。

(意見)

- ・大阪府全体として精神科救急医療システムを運営し、それに加えてさらに合併症支援システムを運営している自治体は全国的にも少なく、医療機関側としては非常に助けていただいている。

■議題 3 依存症対策の状況について

資料に基づき、大阪市健康局から説明

【資料 3】大阪市における依存症対策

(質問)

- ・酒害教室が 12 区で実施されているとのことであるが、市内 24 区のうち、残りの 12 区での対応はどうなっているのか。

(大阪市の回答)

- ・実施区以外の 12 区については、教室への参加が必要な方に、依存症相談員が同行し、実施区に繋いでいる。

(質問)

- ・依存症支援育成者研修やアルコール・薬物・ギャンブルの依存症に関する講座の参加者数が減少しているが、その原因を教えてください。

(大阪市の回答)

- ・いずれも新型コロナウイルス感染症の関係で、ソーシャル・ディスタンスを保つために参加人数を制限したため、減少している。

(質問)

- ・依存症対策支援事業として、アルコール・薬物・ギャンブルの依存症が対象となっているが、重複診断された方も含まれているという理解で間違いはないのか。

(大阪市の回答)

- ・その通りである。

■議題4 認知症施策の現況について

資料に基づき、大阪市福祉局から説明

【資料4-1】医療に関する認知症施策の現況について

【資料4-2】認知症疾患医療センター

【質問・意見】

特に意見等なし

■議題5 第7次大阪府医療計画中間評価について

資料に基づき、大阪市健康局から説明

【資料5】2021年度 第7次大阪府医療計画 中間評価 大阪市二次医療圏（抜粋）

(意見)

- ・精神疾患の項目の「精神科病院の地域移行・地域定着支援」について、普及啓発や地域のリソースが十分でないと、精神科病院に再入院することになるので、医療機関だけではなく、府全体で取り組んでいく必要があるのではないかと思う。

■議題6 その他

- ・自殺の状況について

資料に基づき、大阪市健康局から説明

【資料6】大阪市における令和元年・令和2年の自殺の状況

(質問)

- ・自殺未遂者相談支援事業の評価は難しいと思うが、動機別や手段の分析はしているのか。

(大阪市の回答)

- ・毎年分析しており、令和2年度では、動機としては、健康問題、家庭問題の順、手段としては、過量服薬、刃物の順になっている。

(意見)

- ・自殺者数の男女別の比較をしているが、どのような対策をとるか議論するためには、自殺者数の割合や年齢別自殺者数などが必要ではないか。
- ・身近に過量服薬できる環境に対し、もっと重点的に対策を取っていただきたい。

終了